



迎春

教祖 140 年祭 年祭活動二年目

教祖はおぢばに寄り来る人々に
「よう帰ってきたなあ」と迎えられ、
時々の食べ物を「さあ、お上がり」と言っ
てお出しくだされました。


教祖を身近にすると、こうしたことは
現在も実際に感じられる親心だと思います。

このぬくもりを大きな力に、道の上に励みたいものです。
地域活動も、骨身惜しまぬたすけあいを行って、
親心にお応えさせていただきます。

教区長 奥村尚人

御見舞

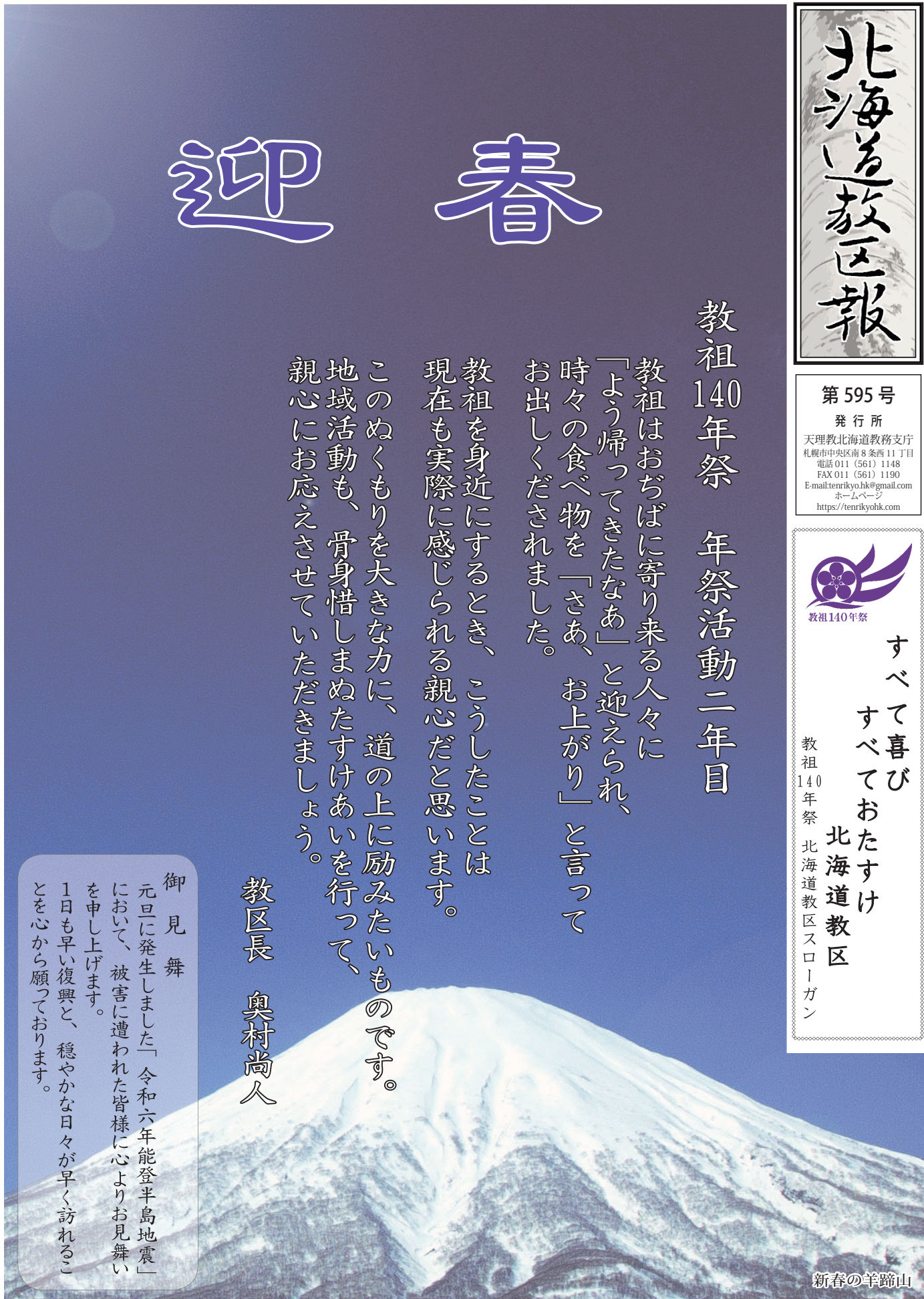
元旦に発生しました「令和六年能登半島地震」
において、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い
を申し上げます。
1日も早い復興と、穏やかな日々が早く訪れるこ
とを心から願っております。



教祖 140 年祭

すべて喜び
すべておたすけ
北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン



新春の羊蹄山

新年のご挨拶



謹んで立教187年の新春をお慶び申し上げます。教祖140年祭に向かう年祭活動の2年目を迎えました。各部各会よりご挨拶申し上げます。

総務部



高橋 太志

運賃と乗降場所が変更されましたが、運行再開されており、また、おちびがえり団参券は発売についての変更があるようですので、情報が入り次第お伝え致します。本年も「すべて喜びすべておたすけ 北海道教区」という教区スローガンの下、勇んでつとめてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

総務部では、企画運営課、おちびがえり推進課の業務と共に、「喜びおたすけ委員会」、「運営委員会」、「庁舎ひのきしん」などのお手伝いも致しております。教祖140年祭の年祭活動が始まり、部員もそれぞれの御用に勇んでつとめております。新型コロナウイルスは五類に移行され、個々のおちびがえりや、団参をしておられる教会もあるかと思えます。関西空港から奈良行きのリムジンバスは、



集会員・喜びおたすけ委員会



笹田 道継

天理教教庁という組織は、憩いの家、学校、布教部、海外部、信者部、その他およそ世界を指す天理教が活動するために必要な機関を包括するところで、歴史的経緯を踏まえ成長発展してきました。この組織を統轄しているのが表統領であり、集会は教規等の変更や予

算、決算を審議し議決する機関です。お道の最も重要な場所は「ちび」「かんろだい」ですが、これが対外的に現れ出て行く場所が教庁である、という解釈も成り立ちます。依って、この教庁という組織が勢いもち円滑に動いているかというところに、お道を通っている一人ひとりの活動の結集がある意味現れているといえます。

庶務部・代表社友



加地 道喜

ちのとも」や集会の会報を読めばある程度は分かりますし、教庁の予算決算も公開されています。現実を見つめつつ「ひながたの道」を辿る。これも大事なことであると考えて、新年の挨拶とします。

私は集会員をつとめるまで、ほとんど教庁に関心がありませんでした。お運びや何かの願書や届け出をするところで、普段は関りの薄いところだからです。ところが関わってくると、これは無関心ではいけないなと思っております。現状については、ここに書き尽くせないで、ごく単純に示すと、教会教費金は一名毎に決められた規模に定額収めていられるもので、これが教庁予算の財源となります。しかし、これだけでは賄いきれず、教会本部からの回付金を補填し賄っています。この回付金は教会本部へ御供金によるものです。これが今どういう状況にあるのか。「みる

そこに互い助け合いというものが生まれたならしめたものです。ただ、やっかいなのは、よくいうフェイクニュースなるものが蔓延しているよし。難しい時代です。



そうした中であって、皆様方には是非とも覗いて頂きたいのが、『天理教』のホームページです。「信仰している方へ」に入っていると、【教祖140年祭特設ホームページ】をはじめ、御本部の行事案内、さらに下の方へ移動しますと、【お道のニュース】が出てまいります。その中には、【お知らせ】

【親里ニュース】【各地ニュース】と分けて、写真付きの詳細な記事が出てまいります。【各地ニュース】には、北海道教区管内の記事が時々掲載されます。続いて下がりますと、別席、修養科等の案内、さらには【天理教の時間】【WEB動画】等があり、10分ほどのお話、動画を視聴することもできます。

そしてもう一つご紹介したいのが、『天理時報オンライン』です。有料会員になりますと、過去の『天理時報』『みちのとも』はもとより、約90冊ほどのお道の書籍を読むことができ、さらにはそれが音声化され、聞くことができます。まさしく、目で見て、耳で聞いて思索し、それを人様に我が口で伝えていく。

この姿勢がある限り、まだまだ御用にお使いいただけるかな、とほくそ笑む日々であります。

本年も『天理時報』をはじめ、お道の書籍、さらには『天理教』のホームページをより活用頂きまして、年祭活動に邁進させて頂きたく存じます。どうぞよろしくお願い致します。

教務部



大野 成一

近年、宗教学者の管理運営に關して、社会的に厳しい目が注がれております。特に「不活動宗教法人」に対して文化庁から各都道府県に通達がなされて、指導が強化されているのが現状です。

昨年11月に道庁主催による宗教学者研修会が開催されましたが、この不活動法人ということが大きな問題であると捉え、その対策についても言及しておりました。

1年以上にわたり本来の目的である宗教活動がなされていない、代表役員が不在である事などが、それに該当します。教区内では、これらの問題を各直属で対処することになりますが、その事務手続きに関しては教区での指導が多くなります。特に、法人の吸収合併に関しては、北海道教区管内におきましても、今までにない件数です。その相談、申請及び登記の指導

等をいたしておりますが、大事な事は、当事者である教会の協力、そして迅速な対応が必要不可欠であります。このような場合はどうしたら良いですか？等の疑問、手続きについてご相談がありましたら、いつでもご連絡下さい。

教務支庁、おぢば教区事務所（本部祭典前後、要連絡）で対応いたします。



また、支部長会議にてもご連絡している事柄ですが、いくつかの「お願い及び注意点」を改めて記載させて頂きます。

①教区内における法人願書はA4横形式です。従来の罫紙での願書は受けつけられません。また、徹底されていないように感じます。

②「事務所備付け書類(写し)」の提出は本年より、全ての書類をA4用紙に統一し、クリアファイルに入れて下さい。なおその

際、ホチキス止めはしないで下さい。教区にて書面をスキャンし保存するためです。

③法人の土地建物に關して変更が生じたときは、登記事項証明書を添付の上、「登録事項変更申請書」を作成しご提出下さい。これにより本部の台帳が現状に合うよう変更されます。

④「責任役員変更届」は5年に一度、任期満了時一斉に提出をしていますが、任期途中で出直、辞任等変更が生じたときは、速やかに届出をお願いいたします。事前に直属にて印をもらい、教区への経由となります。

⑤教区への願書提出に当たっては、郵送の場合、極力「レターパック」にてお願いします。土日配達がなく、期日までに届かないことも発生していることからご理解下さい。また、大事な願書の郵送状況、配達済が確認出来ます。レターパック370は厚さ3センチまでの対応です。

何か、不明な点がありましたら、ご説明いたします。今年「教務研修会」開催を予定しております。

本年も、教務部の上に、皆様のお力添えを心よりお願いいたします。

布教部



内田 誠司

この度の教祖140年祭年祭活動は、個人としてまた教会として自ら心定めを考え親神様・教祖と約束して実動していきうというところに眼目があります。これまでの年祭活動とはちよつと異質に感じられたのではないかと推察しています。さあこれをしましょう！と心一つに向かっていたこれまでを思つた時、どう動いたらいいのだろうか？何をしたらいいのだろうか？と悩んでいるうちに1年経つたという状況も頷けるところではあります。これからまだ2年あります。何か動いていくきっかけや出会いがあつたらなら直ぐに変わっていくことにもな



布教の家実行会

ることと思います。

教区布教部としても、何かに出合えるきっかけやヒントになればとアイデアを出し合つて、今年も活動したいと思ひます。「教理勉強」「布教講話」「布教実習」など一緒に活動してもらいたいという声があれば布教部員が手分けして各支部を廻らせて頂きたいと願つています。旅費などの心配もありません。実動に繋がることであれば喜んで伺わせて頂きます。さあ2年目だ！このチャンス逃さず実動していきましょう！今年もよろしくお願ひします。

福祉厚生部



五十嵐 仁

昨年4年ぶりの「里親研修会」「福祉おつとめ総会」を開催させていただけしたこと、また保護司研修会北海道ブロック大会という大きな行事も開催させてもらい、新年度に向かつての大きな勇み心を頂きました。本当に感謝いたします。本年も皆様に福祉活動が如何に「おたすけ」に繋がっていく



里親啓発研修会

災害救援ひのきしん隊



三幣 敦志

かをご理解いただけよう、努めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年は、三笠市にて平時訓練を開催いたしました。

南空知支部・三笠市社会福祉協議会のご協力を仰ぎ、参加支部隊を道中ブロックに限定しての開催でしたが、新体制となつて初の訓練であり、皆々様の大なるご支援を賜る中、橋本災

救隊本部長を迎え、勇んだひのきしんと多くの経験を積み、貴重な時間を共に過ごすことが叶いました。また、親里白川山林

整備ひのきしんでは、当番支部と共に、ごばにて尊い汗を流し親交を深めることができました。何より、大きな事故・怪我無く、無事に終えさせて頂いたこと、親神様・教祖に御礼申し上げた次第です。

真柱様は、災救隊50周年記念大会で「親神様から頂戴するご守護の数々に対する感謝の気持ち、それをする人の心の中にあるかどうかということが、ひのきしんをするうえに一番大切な点であります。」と平日頃のひのきしんに対する心がけについて、ご教示下さいました。教区災救隊は、「無災害」を掲げ、平日頃のひのきしんに励んでまいりましたが、大きな親心に見守られ、甚大な災害もなく、昨年を終える事が出来ましたが、教区長先生が変わらぬ姿勢で続けられている「一手一つお願ひづとめ」のおかげと、尚一層つとめに励ませて頂く所存です。

私は就任後、スタッフと共に「人材育成」を活動の芯として取り組んでまいりました。真柱様は、昨年の秋季大祭のお言葉で、ひながたについて「50年もの間、どんなことが起こつても、あきらめることなく丹精し続けられたということ、これもひながたとして忘れてはならない」とお述べ下さいました。私たちが災救隊員は、ようばくとして、教祖の道具衆として、ひながたを勇んで歩ませて頂いております。年祭活動の2年目を迎え、「あきらめることのない丹精」を心に、次代へと紡ぐ「人材育成」に邁進してまいりたいと存じます。そして、本年も一れつ兄弟の自覚に立ち、真実をもつて、活動にあたることを教祖にお誓い申し上げ、全道の隊員の皆さまと共に、たすけ一条の道を活発に推し進めてまいりたいと存じます。本年も、何卒お力添えの程、宜しくお願ひ申し上げます。



平時訓練

婦人会



奥村 とう子

婦人会は、常任委員・実行委員・しらゆき会・そして27支部の主任との協力、たすけあいのもとに活動させて頂いております。

昨年迄に11支部の主任さんを訪ね、広い北海道の各地で工夫しながら、ここにこイキキと婦人会活動をつとめて下さっている様子を肌で感じ、感動と感謝の思いに包まれております。



支部全主任研修会

また、2ヶ所以上の支部合同で活動する「27スマイルプロジェクト」では、支部主任同士が話し合い、ねりあつて行事をすることで、単独では味わえない喜びと発見が沢山生まれました。
更には4年ぶりの開催となった「ままつぶの集い」も大好評で、今年はスタッフの増員を考えています。
諸活動の上には、教区の総務部や書記の方々にスムーズな流れになる為のアドバイスを頂き、現場においても少年会、青年会、学生会のパワフルな心強い援護を頂いており、どの場面でも教区、支部一丸となり婦人会活動をフォロー下さいます事を御礼申し上げます。どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。



ままつぶの集い

基礎講座



佐藤 元展

基礎講座は、講師のお話とビデオを通して、天理教の教えを分かりやすく、丁寧に説明させて頂き、天理教のことをご存知の方はもちろん、まったく初めの方にも親しみやすい内容にての方に親しみやすい内容にて



基礎講座 教務支庁会場

なっております。
昨年は、教務支庁会場3回、地方会場2回、年間5回の基礎講座を開催させて頂きました。

受講を機に、おちばがえり・初席を決めて下さった方の御守護もあり、教祖140年祭三年千日の旬の勢いを感じさせて頂きました。

教区では設置当初より、基礎講座をおちばへの入り口として取り組ませていただいております。遠く離れた北の地でも、親神様・教祖の温もりを感じるこの出来るよう、精一杯つとめさせて頂きます。

本年も、教祖140年祭活動の上に、にをいがけ・おたすけの一助として、基礎講座をご活用頂き、多くの方にご受講頂けるよう、事務局係員一同心よりお待ちしております。

少年会



大脇 直丸

コロナによる規制も緩和され、昨年は少年ひのきしん隊やこどもおちばがえり、YYキャンプなど、たくさんの方に参加をして頂き、喜んでつとめさせて頂いております。

て頂く事が出来ました。今年もより多くの会員に喜んで貰える様、支部育成委員長や、各教会の先生方のお力添えを頂きながら、企画運営していきたいと思っております。

特に少年ひのきしん隊では、未来のようぶくの方々に



少年ひのきしん隊

での活動を通して、感動と喜びを知って頂き、おちばに繋がって貰える様に少年会としてつとめて行きたいと思っております。
会員達の笑顔を通して、親神様、教祖にお喜び頂けるよう、つとめて行きますので、本年も変わらぬお力添えをよろしくお願ひ致します。

育成部



和田 与志男

次代を担う若年層の育成は、少年会、青年会、学生担当委員会や婦人会の行事連携により、活動を通してお互いがお道の教えに触れ成人の機会に出来るよう、各会の交流をこれからもはかっていきたいと思ひます。

また、部の活動でありました「道の教職員の集い」は任意団体となりましたが、これからも「子ども食堂」等で、勉強をサ



天理教学を学ぶ会



合唱練習

ポートする機会を設けるなどといった形で、協力関係を繋いでいきたいと存じます。

更に、「天理教学を学ぶ会」においては、長年の開催経緯から担当者と関係を密にしつつ全道に参加周知をはかり、「教区合唱団」においては団員の減少傾向をふまえ、歌う喜びや、おうた演奏会出演を目指して、今後も団員募集に声がけをさせて頂きます。

コロナ禍で延期していましたが「教区雅楽会」の活動は本年5月に講習会を再開し、次代を担

う奏者育成の上に関係者のお力添えを頂き開催させて頂きますので、一人でも多くご参加いただければ幸いです。若年層の育成を通して、また担当する部の活動について、共に成人の道を歩ませて頂くことを忘れずに、思い出多い年になるよう精一杯つとめさせて頂きます。今年もよろしくお願い致します。

青年会



岡田 莖貴

昨年、各支部の活発な動きに後押しされ、勢いよく活動を推し進めることができました。少しずつではありますが、共に会活動を協力してくれる仲間も増えてきております。

そして、今年はいよいよ「ごさんご総会」を開催いたします。おつとめを通して、今期における活動の御礼、そしてより一層の伸展を誓い合う場にしたいたい

存じます。

また、総会に注力していく中で、全道の会員同士が更に勇み合える活動を展開していく所存です。本年もお力添えのほど、宜しくお願い申し上げます。

存じます。



濃 Meets!!

学生担当委員会



高橋 清彦

日頃は、学生会活動の上にご理解とお力添えを頂戴し誠に

りがとうございます。

3月の春の学生おちば帰りに向けて教区学生会委員長の松村笙平くんを芯に学生会スタッフの一同が、心一つに頑張っています。

学生が懸命に活動する姿を見るたびに何時も胸が熱くなり、北海道教区のおみちの未来であり宝物であると実感しています。

今年も学生会員にしっかりと寄り添える様に学生担当委員としてつとめさせて頂きます。引き続き皆様におかれましても、お力添えの程どうぞ宜しくお願い致します。



おつとめ総会

支部布教部長会議

布教部(内田誠司部長)は、12月1日「支部布教部長会議」を開催し、大雪の中、22支部の布教部長が参集した。

会議の冒頭、教区長は、「私は今もあらかじうりようの精神、布教と求道をもってつとめている。そうした思いで、若い方との交流も大切なものではな

いか。そして、この度の会議を通し、布教のあり方など様々な意見を交わしながら、今後の活発な支部の活動を見出して頂きたい。」と述べた。

その後、昨年8月開催の村田幸喜本部准員の布教講話ビデオを視聴し、班別ねりあいに移った。各支部より、年祭活動、ひながたの実践、また、第1回よ



班別ねりあい



神名流し

うぼく一斉活動日を終えての今後の活動に活かす取り組みについて、活発な意見交換が行われた。

最後に、内田布教部長より、今後の教区活動の説明があり、年祭2年目に向け、更なる実践へ邁進することを誓い合い、会議を終えた。

終了後、有志にて神名流し・路傍講演を勇んでつとめさせて頂いた。

定例にをいがけ

やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、12月16日、深々と雪が降る中、集まった5名がにをいがけに歩いた。

この日、Aさん(49才男性)は初めて参加した。Aさんは昨年8月に肺がん(ステージ4)と診断され、昨春に修養科へ。修了後に所属の会長さんからにをいがけを勧められ、ポスティ

ングを始めた。ほどなく自信もついて戸別訪問をするようになり、年祭活動として訪問軒数3万軒を心に定めてコツコツと回ってきた。暑かった夏も終わり、寒さが身にしみる季節と共に気持ち乗らなくなり、継続の難しさに、だんだんと自信を失い以前のように歩けなくなっていたとの事でした。

何気なくスマホを見ていると、北海道教区のホームページの「やまびこ会12月16日開催」が目につき、ふと参加してみようと思った。以前から天理時報や教友との話でやまびこ会の存在を知っていたが、何かヒントを得ればという思いで門を叩いたという。Aさんは「みなさんのにをいがけに対する思いや信仰を聞かせてもらい、これまで続けてきたことは間違っていないなかつたし、これからの方向性も確認できて安心した。やはりにをいがけは尊い信仰実践だと再確認できて、自信が持てまし



戸別訪問

た」と話してくれた。今回は1月16日、13時30分教務支庁集合。2月は11日を予定。詳細はHPにて。(代表藤野充普)

保護司研修会

北海道ブロック大会

天理教保護司連盟(北嶋眞二郎委員長)は、11月28、29の両日、教務支庁及び羽幌分教会を会場に「第11回ようぼく保護司研修会北海道ブロック大会」を開催。連盟委員をはじめ、北海道教区の保護司や教誨師、民生・児童委員、教区福祉担当者、保護司活動に関心のあるようぼくなど、60名が参加した。

本大会は、天理教保護司連盟が、ようぼく保護司の更なる資質向上を目指すと共に、「全支部に一人以上のようにぼく保護司を!」「自立準備ホームの登録教会を増やそう!」をスローガンに掲げて、全国を9ブロックに分け、呼び掛けをするため平成20年度から各地で開催してきたものである。

天理教保護司連盟では、国が推進する更生保護活動、犯罪の再犯防止活動の主力となる保護司の活動を、「現代の難渋たすけ」として捉え、信仰者として

ひのきしんの態度を持ってこれに取り組みようぼく保護司を一人でも多く増やし、地域や社会へのおたすけ実践にしたいものと考えている。

今年度は、吉原札幌保護観察所長の講義、釧正分教会、男能富分教会の実践報告、村田社会福祉課長の講義等、充実した研修会となった。特に日本アカデミー賞受賞の脚本家久松真一氏の記念講演は、参加者の大いなる好評を博した。また、宿舎となった羽幌分教会では、情報交換会が催され、参加者相互の親睦も深められ、中身の濃い研修会となった。

大会後には、新たな保護司任命を目指す8名の申し出があった。



保護司研修会

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日



すす払い

12月26日は、本部月次祭遥拝式後に、神殿のすす払い、御簾、扉格子、畳の掃除や神具、八足拭きなど殿内の掃除を中心に約30名が参加くださいました。



畳拭き



※今後の予定や詳細はこちらのQRコードから



各地の動き

●札幌北西支部
婦人会鳴物教室

支部婦人会(荒木和子主任)は、11月28日、札幌分教会を会場に鳴物教室を開催し、7名が参加、西札幌分教会長、佐藤隆利先生を講師に女鳴物調絃の指導を中心におこなった。



調絃の説明を

鳴物は全て調絃をしていない状態からスタートし、琴の調絃方法について順に説明を聞いた後、参加者が実際に体験し、持ち寄った三味線や胡弓を、琴に合わせて調絃した。

最後にそれぞれが調絃をした鳴物でよろづよ八首をつとめた。参加者みなさんの疑問に思っていることにも答えていただき、とても好評で、あつという間に時間が過ぎ終了した。

計報

立教一八六年・令和5年

12月1日 布教部長会議

加藤 キネ様 10月30日出直(91歳)

青年会 Meets!

高岡 博様 11月2日出直(87歳)

旭小樽分教会長 (小樽支部)

2日 一手一つお願いづとめ 支部長会議

藤田ヒサ子様 11月4日出直(80歳)

養富分教会長 (富良野支部)

4日 札幌中南支部例会 地方委員(予算)会議

菅野キミエ様 11月28日出直(97歳)

7日 しまびご会 やまびご会 会計部会議

北大成分教会長 (渡島支部)

16日 しまびご会 18日 しらゆき会例会 布教の家育成員会議

—— けいじばん ——

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願ひ致します。

北海道教務支庁日誌抄

- 21日 婦人会例会
- 23日 教区長婦本
- 26日 本部月次祭遥拝式 教務支庁ふせこみひのきしん
- 27日 教区長婦片
- 28日 御用納め

●休刊のお知らせ●

2月の北海道教区報は休ませていただきます。